

（報 告）

ア 令和3年度浜松市優秀教職員表彰について

※教職員課長から資料に基づき説明

（安田委員）昨年度の定例会での説明の際に、表彰者が今後誇りを持って仕事に臨めるよう、表彰式にできる限り所属長も参加してもらい、表彰について広く知らせてもらいたいとお願いましたが、今年度はどのように実施したか。

（教職員課長）コロナ禍ということもあり、晴れやかな場が感染の原因になってはいけないとの思いから、今年度は感染症対策をしながら表彰者のみで行った。出席を希望される所属長もいたが、今回はお断りした。ただ、終業式等で児童生徒の前で、表彰の紹介を行ったという報告をいくつかの学校から受けている。校内での称揚についても理解をしてもらっていると考えている。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたら、出席者を増やし、盛大に表彰することも検討していきたい。

（安田委員）これだけの人数の先生達が学校の仕事を抜けて集まるのは大変なことであり、所属長も出席となるとさらに困難であると思う。称揚してあげたいという気持ちだけは理解していただきたい。これは個人的な意見になるが、教育長と同じように教育委員も表彰式に席を並べ、表彰者の顔を見ながら直接祝ってあげたい。検討をお願いしたい。

（神谷委員）子供が学校の放送で、昨年担任の先生が表彰されたと聞き報告してくれた。子供達にもきちんと伝わっているようだ。1点確認したいのだが、表彰分野のうち「地域連携」と「国際交流」は、どのようなことをしたら評価されるのか。

（教職員課長）評価について、役職経験や実績等の明確な基準は特にはない。過去の表彰状況を見ると、地域連携については、コミュニティ・スクールの推進役を長らく務めている教員等が表彰されている。国際交流は、外国にゆかりのある児童生徒が多い学校において、学びづらさの解消や支援に尽力した教員等が表彰されている。

イ 第14回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰について

※教育総務課長から資料に基づき説明

（黒柳委員）表彰は大変喜ばしいことである。教育委員になって4年目だが、最初の頃はキャリア教育と聞いてもピンとこない保護者が多いように感じたが、学校等の取組により、子供や保護者へ浸透してきているのを感じる。今回の受賞はその結果であると思う。今後も引続き取組を進めていただきたい。